

抗 LT サブユニット B (E.coli) 抗体, マウスモノクローナル (ec-01)

商品コード	64-023
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	0.5 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマの培養液から proteinA を用いて精製した
抗原	Crude extract of <i>Escherichia coli</i> (ETEC LT ⁺) cells
アイソタイプ	Mouse IgG2a κ
反応性	subunit B of <i>E. coli</i> LT and <i>V. Cholera</i> CT.
特記事項	N/A
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (1/500~1/5000) 2. ELISA (assay dependent) この抗体は、腸管毒素原性大腸菌 (ETEC) の検出に有用です。
背景	病原性大腸菌は食中毒の主な原因菌のひとつである。その一群である腸管毒素原性大腸菌 (ETEC) は、いくつかの毒素を産生する。ETEC が産生する熱不安定性エンテロトキシン (LT) はコレラ毒素 (CT) に類似している。LT と CT のアミノ酸配列の同一性は約 80% であり、両毒素は 1 つのサブユニット A と 5 つのサブユニット B から構成されている。LT は持続的にアデニル酸シクラーゼを活性化し、cAMP の上昇により腸絨毛細胞による Na ⁺ の吸収を阻害し、絨毛細胞や陰窩細胞による Cl ⁻ の分泌を刺激して下痢を引き起こす。サブユニット A はアミノ酸 1-18 のシグナルペプチドを持ち、成熟型はアミノ酸 19-258 個 (MW: 28.8kDa) からなる。サブユニット B は 1-21 のシグナルペプチドを持ち、成熟型は 22-124 アミノ酸 (MW: 11.8kDa) からなる。ホロトキシンの分子量は 86.4kDa である。
Data Link	UniProtKB: P0CK94 (Heat-labile enterotoxin B chain)
Please note: All products are FOR RESEARCH USE ONLY. NOT FOR USE IN DIAGNOSTIC PROCEDURES. NOT FOR MILITARY USE.	

画像: 抗 LT サブユニット B (E.coli) 抗体, マウスモノクローナル (ec-01)

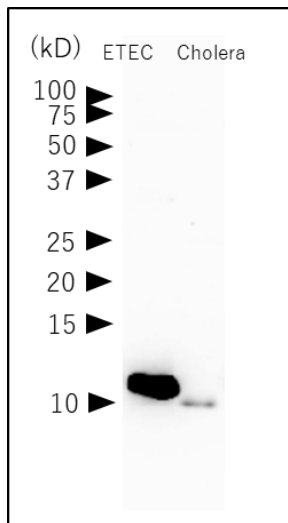


Fig.1. 大腸菌 ETEC 株の粗抽出液中の LT とコレラ毒素 (#01-511) のウエスタンブロットによる検出。
抗 LT トキシンサブユニット B 抗体は 1/1,000 希釈で用いた。

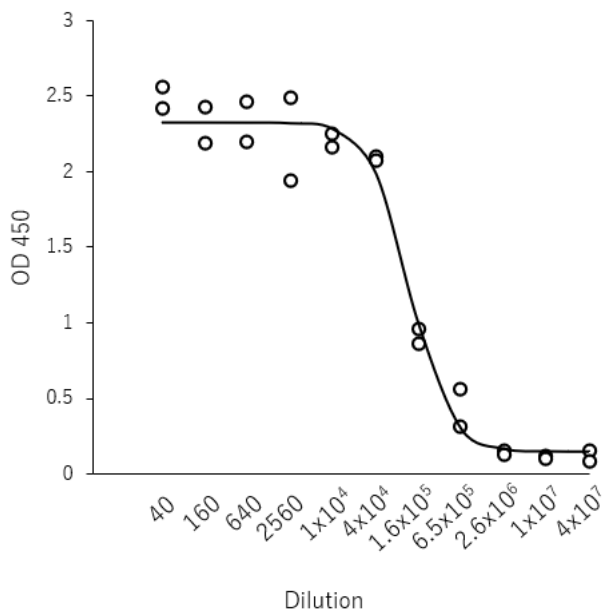


Fig.2. ETEC 細胞の粗抽出物を用いた間接 ELISA による MAb の抗体反応性

プレート各ウェルに大腸菌粗抽出液を塗布した。5%スキムミルクでブロッキングした後、各ウェルに 100 μ l の希釈抗体を添加した。HRP 標識ヤギ抗マウス IgG (100 μ l、2000 倍希釈) を加えた。オルソフェニレンジアミンを基質として発色させた。450nm で測定した。

参考文献: この抗体を用いた論文はない

関連商品:

64-020 抗 LT (E.coli) 抗体, ウサギ抗血清